

ベビーファースト運動について

1 概要

子育て世代が子どもを“産み育てたくなる”社会を実現するため、公益社団法人日本青年会議所（J C）が提唱。これからの日本を支える赤ちゃんを、命を懸けて産み育て、お母さん、お父さんが尊重される文化を作りたいとの考えのもと、企業や行政がみんなで赤ちゃんを育てていく優しい社会を目指し、運動の全国展開を図っている。

2 これまでの経緯等

- ・令和3年 6月25日：運動始動。本県も同日参画（自治体として全国初）
- ・令和3年12月22日：県内15市町村が一斉に宣言
- ・令和4年 1月22日：全国知事会とJ Cが共同宣言

3 本県の活動宣言と具体的行動

■活動宣言 「子育て環境日本一の富山県を実現します！」



■活動宣言に基づく具体的行動

- ・HP、ツイッター、インスタグラム及びスポット放送等による広報
- ・県と包括連携協定を締結している企業に対する参画の呼びかけ
- ・「とやま子育て応援団」事業
 - 18歳未満の子ども連れ家族が協賛店を利用した場合に、割引や特典などの各種サービスを受けることができる制度。協賛店舗数2,188店舗（R3.12月末時点）
- ・ワクワクとやまっ子チャンネル発信事業
 - 新しい生活様式における楽しみ方をオンライン上で発信し、家族のふれあいや子育ての楽しさを再認識してもらうもの（期間限定特設WEBサイト「とやまっ子わくわくラボ」の開設）

4 参画状況

- ・県及び県内全市町村が参画
- ・県内参画企業・団体数（27社→82社）（R3.12月末時点）
 - （包括連携協定締結企業の一つであるセブン-イレブン・ジャパンが県内のほとんどの店舗でベビーファースト運動の活動宣言をするとともに、運動の具体的な行動として「とやま子育て応援団」に登録）
- ・全国の参画企業・団体数：171社、参画自治体数：33自治体（R3.12月末時点）